

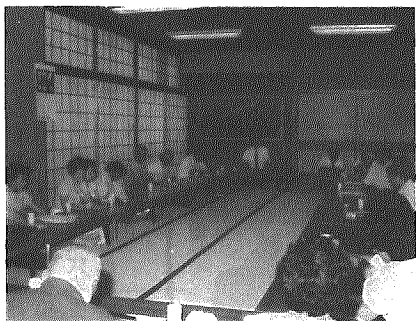
社会教育ガイド

9月の中央公民館事業

- ◆**絵画教室**
期日 9月10日(月)、17日(月)
時間 午後1時
- ◆**家庭教育学級**
期日 9月20日(木)
時間 午後1時
内容 家庭学習のあり方させ方
講師 横越小学校 大久保良校長
- ◆**文学講座**
期日 9月25日(火)
時間 午後1時30分
内容 瀬戸内寂聴著「てまり」
- ◆**婦人大学**
期日 9月26日(水)
時間 午後1時30分
内容 知って得する税金の話
(新潟税務署)
レクリエーション(新家幸子)
- ◆**高齢者大学と婦人会合同運動会**
期日 9月28日(金)
会場 横越中学校体育館

横越村への理解を深め、これからのむらづくりを考えようと、ふるさとフォーラムが中央公民館の主催で開催されています。

フォーラムは、「横越村の良さを考える」をテーマに地域公民館長、文化団体、婦人会など約三十人が参加して、村の歴史、気質、方言、風俗などを語り合う学習の場として今年度五回の予定で開催されているもので、六月の一回目は「村の草分け」を中心テーマに、集落の発祥やなぜ沢海に支藩が置かれたか、地名の由来などについて、参加者は思いの意見を交わす



村民性を語り合ったフォーラム

ふるさとフォーラム おおいに語り合う

とともに、史料との突き合わせを行い地域の歴史を掘り起こしました。

八月三日には「村の村民性」をテーマに、地域によっての気質の違いや村民性の気候・風土・支配者との関係などに

ついで率直な話し合いが行われました。

最初に旧横越小学校校長から中学校長、公民館長、教育長と長年村の教育行政に携わった田中郁郎氏(新津市在住)より、温厚な村民性のなかにもそれぞれ地域性があつたと、

中央公民館では、このフォーラムでの住民の生の声を、近く取りかかると誌編さん作業にも生かしていきたいとしており、フォーラムの成果が期待されています。

10月13日・14日に横越大祭



横越大祭実行委員会にて準備進める

ふるさと創生事業の一つとして、村民みんなが楽しめる横越大祭(仮称)が計画され、地域公民館や代表区長、商工会、農協などで構成する実行委員会が八月九日、中央公民館で初会議が行われ、準備を進められています。



幅広い村民のみなさんにより構成された実行委員会 横越大祭成功に向け着々と準備が進められています

調査などを行い大祭実施案の作成や、具体的企画、運営を担当してもらう実行委員の人選の検討が行われてきたもので、今回構成された実行委員には、五十六人の幅広い村民から参加をいただいています。

初会議では、浅見村長から村民主導による大祭を行動力のある実行委員でぜひ成功させてほしいとあいさつがあつた後、準備会などで検討された郷土芸能、産業祭、花火大会など二日間にあたる大祭実施要領案(別掲)や運営組織などについて論議が行われ、大祭実施の基本的方向が確認されたほか、イベント部会など五つの部会長の人選及び構成が行われました。

また、実行委員会では、現在大祭実施に向けた取り組みが精力的に行われており、大祭の実施計画が決まりました。チラシや十月広報でお知らせいたしますので、村民の皆様からも積極的な参加とご協力をお願いいたします。

横越大祭

主な催し物ご案内

- 10月13日(出) 午後から
- ◎郷土芸能の競演
 - ◎産業祭
 - ◎チビッコ広場
 - ◎民謡、仮装盆踊り大会
- 10月14日(日)
- ◎産業祭
 - ◎チビッコ広場
 - ◎商工会芸能祭
 - ◎河川ステージイベント
 - ◎花火大会
- ◆会場
横越小学校体育館・グランド
街路横越中央線(横小グランドわき)
阿賀野川河川敷

うだるような暑さが続いた今年の夏。熱帯夜をふきとばすかのよう、農協夏まつりが八月十八日行われました。

会場のAコープ横越店駐車場には、各地区から続々と観衆が詰めかけ大盛況のなか、第一部の山本弘子・長良いずみ歌謡ショーが行われ観客を



本村出身の山本弘子さん熱演

救急車出動状況

◆7月の出動件数 13(55)

主な出動原因

- 交通事故 5(17)
- 一般負傷 1(6)
- 急病 7(22)

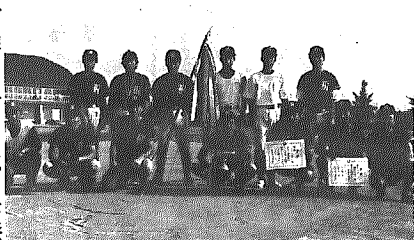
()は4月以降の累計

み歌謡ショーが行われ観客を

このあと、第二部の盆踊り大会では、威勢のよい樽太鼓と笛、唄に合わせ子供からお

平成2年度村民野球大会

ロートルズが優勝を飾る

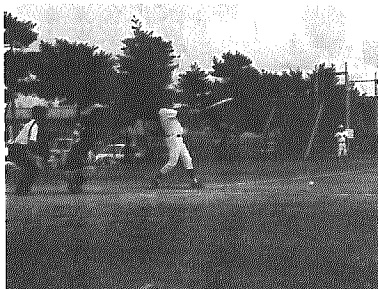


優勝したロートルズのみなさん

七月二十二日と二十九日に行われた平成2年度村民野球大会は、ロートルズが優勝を飾り大会の幕を閉じました。

今年の大会は二十一チームが出場。各会場で炎天下熱戦が繰り広げられ、二連覇をねらう山崎パン野球部が準々決勝で恒心クラブに破れ姿を消すなか、決勝にはロートルズと二本木クラブが勝ち進んで

第九回壮年野球大会(村体育協会主催)が八月十二日、横越小・沢海グラウンドで開催



催され、参加七チームによって白熱した試合が展開されました。

四十歳以上が資格要件の壮年野球大会では、体が思うようにいかず珍プレーも続出。点の取り合いという試合もありましたが、往年の名選手や村民野球大会などの現役選手も多く、随所に好プレーやハッスルプレーも多く見られるなど、盛りあがった大会となりました。

決勝戦では、これまで三連覇しているロートルズと沢海クラブが対戦。沢海クラブが

俳句募集

秋の笠、新菜、菜結
9月25日(火)

はがきまたは封書で6句以内、紙上筆名の際も原稿末尾には本名、年齢、住所を明記

あて先 横越村中央公民館「文芸作品係」

二本の本塁打などで連戦の疲れののちロートルズに八対三と打ち勝ち、二回目の優勝を飾りました。

また、この大会で最優秀選手賞に佐藤信夫選手(沢海クラブ)が選ばれました。

「なんでも相談」のご利用を 9月20日(木) 午前9時~午後4時 役場村長室

中央公民館に 囲碁セットを寄贈

故安達勇氏の「ご家族(静岡県在住)より囲碁セットや書籍多数をご寄贈いただきました。

日本棋院東新潟支部長であった安達氏(六段)は、新潟市で囲碁道場を開いておりましたが、昨年十二月に亡くなられてご家族から道場に備えられていた囲碁セット、碁盤、碁石など多数の用具のほか、囲碁に関する書籍約三〇〇冊が、本村在住の知り合いの紹介により中央公民館に寄贈されました。

中央公民館では、この囲碁セットなどを地域公民館や老人福祉センターにも置いて、大勢の方から活用していただくことにしています。

と今まで、仮装した人も加わり幾重もの輪になって踊りに興じ、夏の夜を満喫していました。